

平成27年度 政務調査費 先進都市調査報告書

会派名	市政協同
議員名	我妻静夫・古澤孝市・徳中嗣史・金濱元一・南川達彦・早川昇三・鈴木和彦
調査実施年月日	平成27年11月18日、19日
調査先 自治体名等	福島県 福島市 第10回全国市議会議長会研究フォーラム
調査項目	全国市議会議長会研究フォーラム
調査目的	1. 地方創生において地方自治体、とりわけ地方議会がどのような役割をはたすべきか 2. 災害対策や震災復興と地方議会の関係について
報告内容 実施したこと	1. 視察先(市町村)の概要 人口 : 284,864人(H26. 6. 1現在) 行政面積 : 767. 74km ² 2. 視察内容 全国市議会議長会フォーラムの参加 ① 基調講演「大震災からの復興と備え」 ② パネルディスカッション「震災復興・地方創生の課題と自治体の役割」 ③ 課題討論会「震災復興と議会～現場から」
感想(まとめ) 本市へ生かせること等	1. 基調講演「大震災からの復興と備え」について 講師 五百旗頭 真 氏(熊本県立大学理事長) 東日本大震災と阪神淡路大震災を比較しながら教訓を話され、避難や救助について住民の共助による救出状況は、地域コミュニティの存在、近所づきあいの有無によるものが大きいというのが実情であり、震災に備えるためには自己判断の自助、日頃からの近所づきあい、コミュニティづくりが必要、などのお話がありました。 2. パネルディスカッション「震災復興・地方創生の課題と自治体の役割」 コーディネーター: 城本 勝 氏(NHK福岡放送局局長) パネリスト: 大滝精一 氏(東北大学大学院経済学研究科教授) 役重眞喜子 氏(花巻市コミュニティアドバイザー) 山下祐介 氏(首都大学東京准教授) 金井利之 氏(東京大学公共政策大学院教授) 高木克尚 氏(福島市議会議長) 4名のパネラーより「復興の現状と課題」「地方創生について」「地方創生における自治体、議会の役割について」などを課題にディスカッションがされました。 3. 課題討論会「震災復興と議会～現場から」 コーディネーター: 河村和徳 氏(東北大学情報科学研究科准教授) 事例報告者: 伊藤明彦 氏(陸前高田市議会議長) 熊谷伸一 氏(気仙沼市議会議長) 平田 武 氏(南相馬市議会議長) 3名の報告者より「震災の被災状況」「震災復興の状況や課題」「議会の取り組み」等が報告されました。 4. 所感: 災害に対する備えの考え方や、地域コミュニティの存在が重要であることを認識しました。また、議員は最も住民に近く、避難所、仮設住宅に入り、住民ニーズを当局へ伝え、住民合意を形にする。議員の役割は大きいと再認識するとともに改めて議会の重要性を感じました。